

令和5年度バス事業における評価結果について

評価指標 及び目標値	令和4年度実績 (調査結果)	令和5年度実績 (調査結果)	評価結果・評価基準 からの方向性	備考(見直し策の具 体例)
1便あたりの平均 利用者数 (基本路線9人以上、 乗継支線2人以上)	1便あたり平均利用 者数 基本路線9.0人 乗継支線1.3人	1便あたり平均利用 者数 基本路線9.5人 乗継支線1.3人	○一部未達成 基本路線については 目標値を上回っていた が、乗継支線につ いては前年度との増 減はなく、目標値に 至らなかった。	コロナウイルス感染 症5類移行及び昨年 10月多奈川線の減便 の影響から、基本路 線の利用者が増加し たと考えられる。R5 年10月から通勤通学 用定期券を発行し利 用者増を図った。R6 年度に交通系ICカー ドが利用できるよう 準備中である。
収支率 (基本路線30% 以上)	基本路線収支率 16.3% 但し、無料措置が無 ければ19.5%	基本路線収支率 16.0% 但し、無料措置が無 ければ20.7%	○未達成 乗車人数は増加して いるが、収入に比し て支出額が増加した ことにより、収支率 が減少した。また、 無料乗車数が増加し ている。	回数券購入者が増加 している。R5年10月 から通勤通学用定期 券を発行。R6年度に 交通系ICカード利用 導入予定。バスを利 用しやすい環境づく りから、収入増を図 る。
満足度 (1年目50%以 上、2年目以降 60%以上) 「満足」及び「や や満足」の合計値 の割合をいう。	バス利用者実態調査 結果(令和5年3月 実施)による。 ○運行ダイヤ 64.5% ○バスルート 83.7% ○バス運賃 98.1% ○運転士マナー 95.4%	令和5年度では、利 用者実態調査を実施 せず。	令和6年度におい て、住民2,000人を 対象に、公共交通に 関する住民アンケ ート調査を実施予定。 令和7年3月、利用 者実態調査を実施予 定。	令和6年度におい て、住民2,000人を 対象し、公共交通に 関する住民アンケ ートを実施予定。 令和7年3月、利用 者実態調査を実施。
利便性 (1年目50%以 上、2年目以降 60%以上) 外出機会が「増 加」及び「やや増 加」した住民の割 合をいう。	【利用者実態調査】 ・バスの利用回数 は、R3年度に比べ 月3、4回利用者が 増加。 ・乗車目的では、通 勤、買物、通院の利 用者数が多い。 ・バスが定着してき ていると思われる。 ○R4年度は住民ア ンケート未実施。			